

2021. 9. 15 第71号

# くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部  
TEL (082) 856-0222  
https://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様

## 新型コロナウイルス感染症 について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて1年間延期された、東京オリンピック・パラリンピックが無事終了しました。世界中の一流アスリートの活躍や、日本人選手が過去最高のメダル数を獲得したことなどにより、大いに興奮し、感動をいただきました。

一方、新型コロナウイルスの感染状況は収束の気配を見せず、新型株による感染拡大の影響もあり、1日の新規感染者が過去最高を記録するよつな状況となっております。

これまで、あと会では、以下に記述しております感染防止対策について、ご利用者、ご家族、関係者の皆様のご協力をいただき実施してまいりました。現状では、引き続き感染防止対策を実施する必要があると考えております。

今後とも、職員一同、感染防止対策の推進に努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

## コロナウイルス感染対策として 法人の実施している対策について

### 1 ご利用者等への感染予防対策

施設入所者、デイサービス等の通所の方、面会等のご家族の方等に対して、施設入り口での検温、アルコール消毒をお願いしている他、ご利用者、ご家族様へのアンケートの実施等も必要に応じて行っています。また、感染状況に応じ、国の通知及び法人独自の基準に基づく、面会禁止・面会制限を実施しています。その折には、IT機器を活用した面会をお願いしています。更に、面談場所等へのアクリル板の設置、机・ドア等の定期的な消毒、部屋ごとの換気等を行っています。

### 2 施設職員への感染予防対策の徹底

出勤前の体調管理、検温、定期的なPCR検査等（月2回〜4回）を実施するとともに、定期的な昇外移動の有無、会食等についてのアンケートを実施しています。更に、各拠点施設をオンラインでつないだ、新型コロナウイルス対策会議を毎週1回開催して、各地域の感染状況の把握及び情報共有、感染防止対策の確認、ご利用者等への連絡事項の確認等を実施しています。

### 3 その他

#### ① 行事の実施について

感染拡大防止のため、例年各施設で実施している行事（花火大会、夏祭り、敬老会等）は中止又は規模の縮小、内容を変更して実施する等の対応をさせていただきます。

#### ② ワクチン接種について

各施設において、新型コロナウイルス感染症の発生及び重症化を予防するため、施設入所者及び職員に対してワクチン接種を実施しました。入所者については6月7日〜7月8日、職員については7月12日〜8月12日にかけて実施し、2回の接種を終了しております。拠点施設ごとに、「なかお内科消化器呼吸器クリニック横山外科胃腸科」「介護老人保健施設ふかわ・くにくさ」「あと・クリニック」「老人保健施設りは・くにくさ」が接種機関となって対応しました。



施設入所者及び職員に対して  
ワクチン接種を実施



施設職員への定期的な  
PCR検査の実施



面談場所等の定期的な消毒

くにくさ苑  
りは・くにくさ



8月26日に毎年恒例の夏祭りが開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症対策として、ご利用者・職員のみで開催させて頂きました。午前中よりお菓子釣りや駄菓子くじを行い、お菓子が取れた際には童心に返ったように喜んで下さいました。昼食には夏祭りメニューとしてやきそばや夏野菜カレー等が振る舞われ、「どれを食べようか迷うねえ。美味しいねえ」と嬉しそうに召し上がっておられました。また、午後からはスイカ割りを行い、周りの掛け声に合わせて皆さん真剣に竹刀を振り下ろし、楽しめました。

くにくさ苑

生活相談員 中橋 希



七月に毎年恒例の焼肉会がくにくさ苑、りは・くにくさにて行われました。コロナ禍で今年も各フロアで換気をし、密にならないよう行いました。今回のメニューはお釜で炊いたご飯、鹿児島県産の和牛海鮮（エビ・ホタテ）、くにくさ自家製の豚汁、ポテトサラダで豊富なメニューに目を輝かせておられました。お肉の焼ける匂いと煙が広がり、いつもと違う雰囲気のある食事に「焼肉久しぶりじゃねえ」「食欲が出るよ」とご利用者の笑顔も広がりました。とりわけ男性には大好評で「もう少しちょうだい」と追加でお肉も焼く位でした。コロナウイルス感染症の収束の目処は立っていませんが、

ご利用者にリフレッシュして頂けるような行事を、これからも行っていききたいと思えます。

（りは・くにくさ）

介護職 松永 好弘



ふかわ・くにくさ



新型コロナウイルスの収束も未だに見通しが立たない状況ですが、少しでも入居者の皆様に楽しんでいただくこと、昨年に続いて、夏のお祭りにちなんだ料理を提供いたしました。

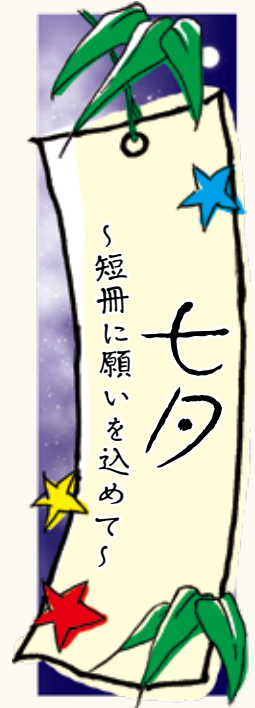
大皿に盛りつけられた食事を前に、ご入居者ご自身が食べたいおかずを選んで召し上がられています。ご入居者から「ごちそうをたくさん食べて、もうお腹いっぱい」とご満足の声をいただきました。今後もご入居者に喜んでいただける行事を企画していきたいと思えます。

（ふかわ・くにくさ）

支援相談員 吉田 将二







短冊に願いを込めて

七夕

有料老人ホームでじま・くにくさでは、「七夕の願い事を叶えて笑顔になっていた」というコンセプトのもと、7月7日の夕食に七夕特別メニューをご提供しました。この企画は、新型コロナウイルスの影響で行事や日々の楽しみが縮小されていく中で、利用者様にワクワクした気持ちを味わっていただきという想いから生まれ、今年で2回目の実施となります。

利用皆様には事前に「これが食べたい」という願いを込めて短冊に好きなメニューを一品ずつ書いていただき、そのメニューを七夕の日にご提供しました。くにくさの普段のメニューの中でもダントツで人気の握り寿司は、やはり今回も一番ご要望の多いメニューでした。その他にはステーキや熱々のお好み焼き、スイーツやビールなど、個性豊かなご要望をたくさんいただき、栄養課職員一同、張り切って準備に取り組みました。当日は色とりどりの短冊が笹の葉を彩り、ユニットやレ

ストランの雰囲気をより一層盛り上げてくれました。それぞれが短冊に書いた料理を召し上がり、「すっごくおいしいよ、ありがと」と言っていたり、「そのメニューの思い出話をしてください」と言ったりと、皆様とても生き生きとした表情をされていました。まだ触角が動いているほど新鮮で大きな伊勢海老のお刺身を見て、目を丸くしておられる利用者様の姿もとても印象的でした。

今後も利用者様にワクワクしていただけのようなメニューや企画などに取り組んでいきたいです。  
(介護つき有料老人ホーム でじま・くにくさ 管理栄養士 宗岡 ひかる)



単位：千円

事業活動計算書	
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	2,303,424
サービス活動費用	2,167,655
サービス活動増減差額	135,769
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	7,740
サービス活動外費用	19,583
サービス活動外増減差額	△11,842
特別増減の部	
特別収益	43,251
特別費用	1,854
特別増減差額	41,397
当期活動増減差額	165,324
前期繰越活動増減差額	1,387,890
次期繰越活動増減差額	1,553,214

財産目録

単位：千円

資産の部	金額	負債の部	金額
1. 流動資産	1,345,934	1. 流動負債	326,229
2. 固定資産		2. 固定負債	1,213,283
(1) 基本財産	2,252,375		
(土地)	(661,724)		
(建物)	(1,590,651)		
(2) その他の固定資産	179,491	負債合計	1,539,513
固定資産合計	2,431,867	差引純資産	2,238,288
資産合計	3,777,801	負債・純資産合計	3,777,801

単位：千円

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
流動資産	1,345,934	流動負債	326,229
基本財産	2,252,375	固定負債	1,213,283
その他固定資産	179,491		
		純資産の部	
		基本金	283,656
		国庫補助金等	401,416
		特別積立金	
		次期繰越活動	1,553,214
		収支差額	
計	3,777,801	計	3,777,801

令和2年度 決算状況報告

社会福祉法人あと会 令和3年3月31日現在

# 令和2年度 事業報告

重点項目の実施状況

## (1)コンプライアンスの徹底

新規採用職員の時研修については、新型コロナウイルス感染防止のため、一部、各拠点において分散開催となった。実施項目についてはコンプライアンス研修も含む予定通りの内容で実施できた。また、社会福祉法、介護保険法等の基本法令についてもサービス提供の基本であり、機会を捉えて周知徹底を図った。

## (2)サービスの質の向上

### 事例発表大会の実施

各施設・事業所は常に、「利用者の満足度の向上を図るための視点を持つことにより課題を発見し、改善していく取り組みを行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施している事例発表大会を年度内に開催することができなかった。（5月）に入ってからZOOMにより、分散で開催した。

## (3)適正な法人維持資金の積立

毎月、各事業所の収支状況について、前年同月と比較し、増減要因の分析等を行い、稼働率、収益の向上に努めるとともに、施設・設備の老朽化に対応するため将来を見据えた必要財源の確保に努めている。

## (4)優秀な人材の確保

例年、優秀な人材を確保するため、年度当初から関係大学、専門学校、介護労働者養成機関等に対する資料提供、説明会開催等のための訪問を計画的に行うとともに、就職説明会も開催していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、各機関が外来者の訪問禁止期間を設けたため訪問機会が激減した。また、一堂に会した就職説明会の開催ができなかったためオンラインによる相談会・施設見学会等を24回開催し、延べ49人の参加を得た。

## (5)積極的な法人情報の発信

新型コロナウイルス感染防止のため、実際に施設訪問等により情報提供する機会が減少していることから、ホームページの内容を迅速に変更・充実させるため、更新システムを改善した。また、ウェブサイトデザインの更新して、求職者への情報提供を充実させた。

## (6)教育体系・キャリアパスの改善とコア人材の発掘と育成

事業を継続的・安定的に運営していくためには職員の確保はもとより、人材育成が重要なポイントであり、将来を担う職員を育成するため、資格取得支援、キャリアパスモデルの見直しなどについて検討を進めた。

## (7)海外交流の継続

例年スウェーデンの都市との職員の人材育成を目的とした相互交流を行うとともに、ドイツからのボランティア留学生の受入れも実施する予定であったが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、海外への渡航禁止、海外からの来航禁止など、双方の事情により実施できなかった。

## (8)マニュアル類の整備、5S運動の徹底

職場環境の整備については、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染予防についての取り組みが中心となり、検温・体調管理、消毒、アクリル板の設置、タブレットによる面会の実施、職員間での感染防止対策等について、各施設で取り組むとともに、週1回、ZOOMを活用した新型コロナウイルス対策会議により、情報及び取り組みの法人全体での共有化に努めた。

## (9)地域貢献事業の推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各事業所の行事も中止又は縮小を迫られたほか、町内会及び社会福祉協議会等が主催する行事も殆どが中止されたため、地域の関係団体と連携した取り組みについても実施できなかった。

## 新しい事業所を開設しました



高陽・くにくさ 居宅介護支援事業所  
(令和3年3月1日開設)  
高陽・くにくさ 訪問看護ステーション  
(令和3年7月1日開設)

広島市の中でも高齢化率の高い安佐北区において、高陽地区の中心地である落合南一丁目の県道37号線に面した場所に、新たに在宅支援を中心に介護・医療サービスを提供する事業所を開設しました。高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしく人生の最後まで過ごすことができるようサポートする事を目的として、近隣の医療機関、介護サービス等と連携しながら事業を展開していきます。

開設場所近隣には、銀行の支店及び商業施設などがある他、医療法人社団あと会の「なかお内科消化器呼吸器クリニック横山外科胃腸科」「高陽デイサービスセンター」があり、新設事業所と連携した地域医療・看護サービス等も提供することができます。



秋の気配も次第に濃くなり、穏やかな好季節となりました。この夏は、一年の延期を経て開催された東京オリンピック・パラリンピックがありました。コロナ禍での開催にあたり賛否両論あつたと思いますが、選手の諦めない一生懸命のプレーに「感動・勇気・希望」を感じたのではないのでしょうか。

また、大会開催中選手から感謝の言葉が多く聞かれたのが印象に残りました。コロナ禍の大変な中だからこそ、たくさんの人の助けがあつて日常生活が送れていることに感謝しなければと改めて感じました。

そんな中、各事業所で焼肉会や夏祭りなど、くにくさ恒例の行事を行いました。どの行事も夏の楽しいひと時を楽しんで頂けたかと思えます。今後も施設内で可能な限り、出来る取り組みや行事を企画準備していきたいと思っています。

季節の変わり目です。皆様、お体にはお気をつけ下さい。

くにくさ 介護職 武田 正登